

算 数 · 数 学

【算数・数学】

種NO	算数・数学 1	算数・数学 2	算数・数学 3
発行	絵本館	絵本館	くもん出版
書名	五味太郎の絵本⑨ いろ	五味太郎の絵本⑩ かたち	くもん式のかずカード
著者	五味 太郎	五味 太郎	公文 公 監修
定価	800円 (A 5変形 20P)	800円 (A 5変形 20P)	951円 (B 6 50枚)
発達	A	A	A
内容	絵の具で塗った身近な動物が登場し、それが水に落ちてしまい、さらに塗り直すというストーリーで、色の類別を説明している。	丸い子供、三角の魔女、四角いロボットの主人公が、それぞれ交互に3場面ずつ描かれ、基本図形の理解を図っている。	表面が赤い点（ドット）で数を表し、裏面にそれに対応した数字が書いてあるカードである。ドットの数を数えて、数字を確認する内容である。
構成・分量	見開き頁に1種類の動物が描かれ、色の違う動物が4種類登場し、最初の色と塗り直した色を合わせて、8色の内容である。	見開き頁に1場面、一つの形のみで描かれていて、短い文章で説明されている。	数を表すカードは、1から50までの50枚である。表面の赤い点（ドット）は、横に並べて表示され、5以上になると次の行へ移るようになっている。それが50まで繰り返される。
表記・表現及び使用上の便宜	絵が大きく、シンプルであり、また適度な空間があるので見やすい。文章が簡潔で、分かりやすい。小型でコンパクトにまとめられており、装丁もしっかりしている。	絵がシンプルであるが、明暗の配色で形が捉えにくい場面もある。文章にリズムがあり、簡潔である。小型でコンパクトにまとめられており、装丁もしっかりしている。	赤い点（ドット）と数字のカードというとてもシンプルな内容で、分かりやすい。点は見やすい大きさに指で指して数えることが容易である。数字の大きさは太く表記（300ポイントの丸ゴシック体）され、指でなぞって学習することも可能である。カードは厚紙できていて耐久性がある。大きさはB 6サイズで扱いやすい。
その他	作者独特の分かりやすい絵と鮮やかな色づかい、短い文章で表されているので、児童・生徒が興味をもって読める内容であり、色に関心をもつことができる。この本に出てきた色だけでなく、色を増やしたり、ペープサートなどに活用するなどの学習に発展できる。	親しみやすい主人公が登場し、興味を引く内容になっている。物語などの話を展開するなど、絵本として楽しみながら、形の概念を指導することができる。しかし、明暗などの配色のため、形を捉えにくい場面などについては、指導の工夫が必要である。	50枚のカードの順序がバラバラになると、ほしい数のカードを探せなくなることや、保存の際に箱が破れやすい点に配慮を要する。点の数と数字が対応していることに気付くまで繰り返し学習することで、数字の読み方と数字の量を体得できる。反面、興味を持続させることに工夫が必要である。

【算数・数学】

種NO	算数・数学 4	算数・数学 5	算数・数学 6
発行	講談社	同成社	文化学園文化出版局
書名	ブルーナのアイディアブック ミッフィーのいまなんじ	ゆっくり学ぶ子のための 「さんすう」① (量概念の基礎、 比較、なかま集め)	どうぶつあれあれえほん第4集 かくしたのだあれ
著者	ディック・ブルーナ	江口 季好、村上 直樹	五味 太郎
定価	750円 (A 5変形 24P)	1,100円 (B 5 72P)	534円 (B 5変形 23P)
発達	A	A	A
内容	朝起きてから、夜寝るまでの日常生活の中の行動と時刻が、簡潔に記されている。 「何時」という読み方のみを扱っている。	比較や弁別、分類、仲間集めなど、数の概念を獲得する前段階に必要な、物の見方、考え方を形成する内容である。	だまし絵の手法を取り入れ、動物の絵の中から、日常生活でよく使う歯ブラシや靴下などを探す内容である。
構成・分量	見開き2頁で、時計の絵と生活場面を表している。朝7時に起きてから、夜8時に寝るまでの時刻が10場面構成されている。	「量概念の基礎」「比較」「弁別」「仲間集め」「ゲーム」の内容で構成され、分類では、形の弁別も扱うなど、幅広く題材を選んでいく。	左頁に事物が提示され、右頁のだまし絵の中から探すという構成である。だまし絵を構成している動物等は、2から12まで、次第に増えている。 全体の分量は23頁で適当である。
表記・表現及び使用上の便宜	うさぎの絵と説明の言葉が添えられており、色彩、文字が鮮明で、見やすい。 どの頁も表紙と同じ厚紙でできている。頁をめくりやすくするためのタックがついており、扱いやすい。	導入部分はカラーで、身近な物が大きく描かれている。各頁には、「指導の展開」が注釈として載っており、指導上参考になる。色を塗ったり書き込みができるよう工夫されている。 紙質・装丁とも教科用図書としては十分である。	左右の絵で1対1対応ができ、次第に難易度が上がるよう工夫されている。 対応する絵が左右反転して描かれていたり、意図的に一部分だけ描かれていたりする所もある。 文字の大きさは32ポイントで、楷書体である。文章は簡単な文で統一されている。 色彩は図と地のコントラストがある頁がほとんどである。 表紙は堅く、紙質、装丁はしっかりしている。 大きさはB 5変形で扱いやすい。
その他	時計の絵とウサギの絵、平仮名の文で構成され、重度の児童・生徒には分かりやすく、見やすい。 幼稚園の生活が基本となっている内容なので、使用に当たっては、児童・生徒の生活の実態を踏まえた配慮が必要である。	量の概念の基礎、比較、弁別、仲間集め等の内容について、大きな絵と短い文章でいいねいに扱われている。 数の基礎的な概念を獲得させる段階の児童・生徒の指導に適する。	隠された物を見つける楽しさを味わいながら、同じものを対応させる学習ができる。 教師がヒントを出す要素も絵の中にたくさん含まれており、対話を楽しみながら学習できる。類推力が必要である。

【算数・数学】

種NO	算数・数学 7	算数・数学 8	算数・数学 9
発行	ペンギン社	ほるぷ出版	ポプラ社
書名	あたまのうえにりんごがいくつ？	ほるぷ創作絵本 あかちゃん1. 2. 3.	絵本・いつでもいっしょ2 どうぶつなんびき？
著者	セオ・レスイーグ	しみず みちを	はた こうしろう
定価	1,200円 (B 5 変形 64P)	800円 (B 5 変形 28P)	1,100円 (B 5 変形 37P)
発達	A	A	A
内容	ライオン、とら、いぬの3匹が、頭の上りんごを数多く乗せるゲームで競い合っていく話の中で、数や長さに興味をもたせる内容である。	動物のお母さんと赤ちゃんをテーマにし、赤ちゃんの数を数えながら、数への興味・関心を引き出す内容である。	野原に次々に現れるキリンやトラなど10種類の身近な動物を使い、1から10までの数について説明している内容の絵本である。
構成・分量	リンゴゲームの一連の流れの中で、一つずつ数えながら増やしていく。また、数の多い方が威張れるということから、数の順位にも触れている。	10種類のよく知られている動物が登場し、問いに対して、赤ちゃんが一つずつ増えていく構成になっている。	見開き2頁に1場面、片面に数字と説明文、もう一方にその数だけ動物が描かれている。 全体の分量も37頁で適当である。
表記・表現及び使用上の便宜	見開きを基本に構成しており、絵柄はイラスト風に線が強調している。文章は短く、リズムを大切にしている。 良質の紙を使用し、装丁もしっかりしている。本の大きさも適当である。	絵と簡単な文章が、見開きで構成してある。絵は淡い色使いで、ソフトに仕上がっている。絵も分かりやすく、親子関係をうまく表現している。 良質の紙を使用し、装丁もしっかりしている。	場面ごとに頁の色が変わり、また、文章と動物の数を対応させるなど視覚的にとらえやすくしている。 文字は、15ポイントで、数字は、ゴシック100ポイントで書かれている。 また、数字やカタカナに平仮名で振り仮名がついている。 表紙は、丈夫で本文の紙質、装丁ともにしっかりしている。 B 5 変形で、児童・生徒が持ちやすく扱いやすい大きさである。
その他	リンゴの数に興味をひかれながら、学習を進めることができる。 後半は物語としての面白さの方に気が取られるので、指導上の工夫が必要である。	親子という、身近で分かりやすいテーマで、児童・生徒の興味・関心を引き出している。 「あかちゃんの」という題名の扱いには配慮を要する。	数の理解の導入を学習するのに適している。動物が登場する物語性もあり楽しく、学習できる。 数の基礎的な概念を獲得する段階の児童・生徒には、適当である。

【算数・数学】

種NO	算数・数学 10	算数・数学 11	算数・数学 12
発行	幼年教育出版社	絵本館	福音館書店
書名	かずあそび 1	ふたりではんぶん	ブルーナのたのしいべんきょう1 まる、しかく、さんかく
著者	松井 公男	五味 太郎	ディック・ブルーナ 文・絵 松岡 享子 訳
定価	780円 (B5 38P)	1,000円 (A4変形 23P)	600円 (A5変形 28P)
発達	A	A	A
内容	数の概念について「ことり」、「どうぶつのなかま」など9つの教材を使い、数の集合、1対1対応、調節など、具体的な活動をする内容の絵本である。	二人の女の子が、あめ玉等を、「二人で半分」と言いながら、分けていく話を通して、「半分・2等分」について学習できる内容の絵本である。	身近な物のはっきりとした絵をとおして、丸、三角、四角について学習できる絵本である。
構成・分量	絵が飛び出すなど立体的な工夫を行い、絵や写真を切り抜きながら学習できる構成になっている。それぞれの目標が教材末に書かれ、指導のねらいとして、巻末に指導者の解説がある。全体の分量は38頁と適当である。	見開き2頁で、「二人で半分」という問いかけの場面と、半分になったことの確認の場面を繰り返す構成になっている。	丸い形の物、四角い形の物、三角の形の物が、それぞれ1頁に1つ、続けて7頁ずつ提示する構成となっている。
表記・表現及び使用上の便宜	風景や動物は水彩で描かれ、くだものは写真を用いるなど、親しみやすくなっている。切り抜く活動をしながらか学習を進めていくため、一度やると繰り返す行は出来ない。文字は、20ポイントで「ことり」「うみ」など9つの教材名を記載している。表紙は、丈夫だが、紙質は薄い。	絵が大きく、はっきりとしており、児童・生徒が興味・関心を持ちやすい。文章は、すべて平仮名・片仮名・アラビア数字で書かれている。児童・生徒に身近なあめ玉等を扱い、児童・生徒の興味を引きやすくしている。児童・生徒が持ち運びやすい。装丁が丈夫で、しっかりとしている。文字の大きさは、20ポイントである。	絵が単純で、橙、黄、青、緑の4色ではっきりと彩色されており、分かりやすい。文字は、「まる」「しかく」「さんかく」が各2回出てくるのみである。児童・生徒が持ち運びやすい大きさである。装丁は、丈夫でしっかりとしている。本文の文字の大きさは、28ポイントである。
その他	指導者とともに紙を切り抜く活動などをしながら学習できる。また、切り抜いた絵や写真は教材としても活用できる。	「分ける」、「半分である」ことについて、学習することができる。「半分」という言葉が、「2等分」という意味だけでなく、「二つに分けた一方」の意味でも使われているため、指導上の配慮が必要である。	身近な物の絵の中で、丸、四角、三角が色によって強調され、児童・生徒が目的の形を意識しやすくなっている。

【算数・数学】

種NO	算数・数学 13	☆算数・数学 14
発行	福音館書店	偕成社
書名	0・1・2 えほん まるくておいしいよ	エリック・カールの絵本 パパ、お月さまとって！
著者	こにし えいこ	エリック・カール
定価	571円(B5変形 20P)	1,600円(A4 38P)
発達	A	A
内容	丸の図形を見せながら、何が隠れているのかを想像させる内容の絵本である。 丸い図形について学習することができる。	お月様を取るという空想の話の中で、長いはしごを用意したり、お月様が大きくなったり小さくなったりすることなどを通して、長さや大きさなどが学習できる。
構成・分量	見開き2頁で、丸い物の影を見せ、何が隠れているか問う場面と、その答えを示す部分とを10回繰り返す構成となっている。	長さや高さを表現するために、本からはみ出して頁が開いたりするなどの仕掛け絵本になっている。
表記・表現及び使用上の便宜	はっきりとした絵や写真を使用し、丸い形が分かりやすい。 文章は、すべて平仮名と片仮名の文節分かち書きで書かれている。 児童・生徒が持ち運びやすい大きさである。 装丁は、丈夫でしっかりとしている。 文字の大きさは、20ポイントである。	文字の大きさは14ポイントである。 平仮名のみ表記である。 全頁カラーである。 表紙の紙質は厚く、コーティングしており耐久性がある。 仕掛け頁は、取扱いに注意が必要である。
その他	丸い図形について学習できるほか、1から5の数の学習にも使用できる。 食べ物を題材としており、児童・生徒の興味・関心を引きやすい。 題名に「0・1・2 えほん」とあるため、使用に当たっては、配慮が必要である。	話を楽しみながら、長短、高低、大小の概念を学習できる内容になっている。 仕掛け絵本となっているため、体験的な活動なども通して、長短や大小などを比較する学習への応用ができる。

【算数・数学】

種NO	算数・数学 15	算数・数学 16	算数・数学 17
発行	あかね書房	あかね書房	偕成社
書名	村上 勉の学習えほん おかあさんだいすき 1・2・3	あかねえほんシリーズ かたちのえほん まる・さんかく・しかくさん	文字と数の本 1・2・3 どうぶつえんへ
著者	村上 勉	山本 護久、村上 勉	エリック・カール
定価	1,300円 (A4変形 55P)	1,300円 (A4変形 32P)	1,200円 (A4 27P)
発達	B	B	B
内容	1～20までの数について数字と、それに対応した動物の絵で、数の書き方・数え方、簡単な数の合成を理解させる内容である。	丸いコックさん、三角の魔女、四角い王様などが登場し、簡単なストーリーを通して、基本図形の概念を図っている。	動物が、動物園に運ばれるという物語を通して、1～10の数の概念形成を図る内容である。
構成・分量	前半は、1～10までの数字の書き方・数え方を扱い、後半は、10以上の数の数え方や、10までの数の合成を扱っている。	丸、三角、四角の順に8頁ずつ扱い、その後三つの図形が4頁にまとめられている。	見開き2頁で一つの動物が登場し、1両目、2両目と頁をめくるとともに、個数一つずつ増えるように配列されている。
表記・表現及び使用上の便宜	1～10までの数については、見開き2頁の左に数字の書き方が大きく示され、右にその数の動物の絵が描かれている。 紙質がよく、水をはじく。 上質の厚手の紙を用い、装丁もしっかりしていて、耐久性にもすぐれている。	各図形が同色で描かれており、太い黒線で縁どられて強調されている。平仮名の文章には、丸、三角、四角の用語が繰り返し使われている。 紙質がよく、水をはじき、装丁もしっかりしていて、大きさも適当である。	画面が貼り絵を用いているため、独特の色彩と表現で、動物の表情が豊かである。絵だけの表現なので見やすくなっている。 紙質もよく、装丁もしっかりしている。 適当な大きさであり、扱いやすい。
その他	「数を数える」といった、基礎的な数の概念を育成するのに適した教材である。 数字も見やすく、児童・生徒が興味を示すような絵であり、楽しみながら「数を数える」学習に取り組める。	基本的な図形をもとに絵を描くなど、図形の概念形成に役立つ。指導の際には、逆の思考として、ある具体物から図形を抽出させる内容も扱うとよい。 最後の3頁に、図形の絵描き歌が紹介され、応用を図っている。	洗練された絵と簡潔な文章で、集合数、順序数、数唱が取り上げられている。 動物が重なって描かれている部分や、動物の向きなどが様々であるため、具体物に対応させながら数える場合などは、配慮が必要である。

【算数・数学】

種NO	算数・数学 18	算数・数学 19	算数・数学 20
発行	くもん出版	小学館	童心社
書名	くもんのとけいカード	21世紀幼稚園百科® かずあそび1・2・3	かずのほん 1 どっちがたたくさん
著者	くもん出版	野田 一郎	遠山 啓 監修
定価	1,165円 (B 6 47枚)	970円 (A 4 変形 31P)	1,000円 (B 5 変形 47P)
発達	B	B	B
内容	カードに書かれたアナログ時計の長針と短針の位置から、時刻を読み取るものである。また、カードの裏には時刻の読み方が日本語・英語表記で示されている。	1～10までの数について物を数えることを基本とし、1対1対応、大小、合成・分解、数え方、順序、位置関係などを取り上げている。	数の概念を形成していく一つの段階として、1対1対応を通した、数量の比較を中心に扱っている。
構成・分量	何時・何時半・何時15分・何時45分と難易度にそった47枚のカードが用意されている。児童・生徒の発達の状況に合わせて、カード選択ができる。 全体の分量は47枚で適当である。	1～5までの数と、1～10までの数の、2部構成になっている。また、具体物との対応で数えることを通し、理解を深めるように工夫されている。	小さい数の「1対1対応」から始め、集合づくり、集合の大きさの比較と、次第に大きな数へと、無理なく範囲を広げている。
表記・表現及び使用上の便宜	長針は赤色、短針は青色で分かりやすい。 文字の大きさは100ポイントで、書体はゴシック体である。カード裏の時刻の読み方を示す漢字には振り仮名が付いている。 デジタル表示と英語表記もある。 細かな「分」読みの際には文字盤の数字の横に分表記がある。生活との関連を図るためのシートや自由に時刻を設定するための文字盤カードと長針、短針が用意されている。 カードは厚紙でできていて耐久性がある。 大きさはB 6 サイズで扱いやすい。	絵は、実物や模型の写真を多用し、実感が伴うよう配慮されている。数字や片仮名には、仮名が振ってある。 厚紙にコーティングをし、装丁がしっかりしている。各頁の下に指導のポイント、学習のねらい、小学1年生の学習との関係を示している。	見開き2頁で課題が設定され、めくった頁に、解答に当たる絵が示されている。文章も簡潔で分かりやすい。 紙質・装丁ともしっかりしていて、耐久性に優れている。 大きさはB 5 変形で扱いやすい。 巻末に指導者向けの解説が載っている。
その他	時刻の読みは生活との関連を付けることが大切であるので、単なるカードの読みを終始しないよう、工夫する必要があるが、時計の学習に活用できる。カードを収納する箱は小さめでやや使いにくい面がある。	数の概念形成を図る上で、基本的な考え方と、具体的な方法を示した教材である。 数えることに、重点が置かれており、実際の指導の際には、具体物や半具体物を用意するなどの、工夫が必要である。 「幼稚園百科」という題名の扱いには配慮を要する。	大きく見やすい絵と、簡潔で分かりやすい文章で、1対1対応、弁別、仲間集めの学習を通して、集合の大きさを比べる学習ができる。 数の数え方、数詞などを扱う以前の指導に適切である。

【算数・数学】

種NO	算数・数学 2 1	算数・数学 2 2	算数・数学 2 3
発行	童心社	同成社	戸田デザイン研究室
書名	かずのほん 2 0から10まで	ゆっくり学ぶ子のための 「さんすう」② (1対1対応、1～5の数、 5までのたし算)	1から100までのえほん
著者	田畑 精一 絵 遠山 啓 監修	江口 季好、村上 直樹 編	たむら たいへい
定価	1,000円 (B 5 48P)	1,100円 (B 5 72P)	1,600円 (B 5 変形 42P)
発達	B	B	B
内容	1から10までの数について説明されている。目や鼻等の身体の一部や動物など身近なもののイラストを見ながら、その絵と数字又はタイルを対応させ、集合概念の形成を図る内容の絵本である。	5までの数について「1対1対応」「具体物を数字に置き換える」「数の順序」「足し算」について、図、文字、記号等を用いて示している。	1から100までの数について、身近な物や動物の絵と数字を示し、集合数としての理解を図る内容である。
構成・分量	1から10までの数と0を、①1～3②4、5③6～10、④0の4段階に分け、理解しやすいようにまとめている。 また、巻末に指導者向けの解説がある。 全体の分量も48頁で適当である。	具体物操作による「1対1対応」から始まり、半具体物操作へと移行していく構成である。1頁に載せてある課題数も適切である。	コアラを中心とした物語にそって、1から20までは一つずつ数字と絵が増え、20以上は10ずつ増え、100までの数が示されている。
表記・表現及び使用上の便宜	タイルを使用し、数を量的に表すことにより、集合数の概念を分かりやすく説明している。 文字は、19ポイントで、数字と平仮名が使われている。特にタイルに対応する数字は、100～240ポイントで大きくて見やすい。 表紙は、丈夫で本文の紙質、装丁ともにしっかりしている。 B 5 変形で、児童・生徒が持ちやすく扱いやすい大きさである。	絵は身近な物や動物、食べ物を取り上げ、一部はカラーである。文字は、平仮名、片仮名、数字である。 紙質・装丁ともしっかりしていて、耐久性に優れている。大きさはB 5 で扱いやすい。 各頁に「指導の展開」が載っている。	絵は動物が中心となり、全部カラーである。どの動物も表情豊かに描かれている。文字は、平仮名、片仮名、数字である。 紙質、装丁ともしっかりしている。大きいので保管、持ち運びには不便である。
その他	集合数としての数や数量の概念形成に役立つ。数字や絵が大きく、色の使い方もはっきりしている。	5までの数について、具体物から半具体物を経て、数字に置き換えるまでの過程が、ていねいに扱われていて、数の概念を具体物をイメージしながら、理解できるように配慮されている。数の導入段階の学習に適している。	物語を楽しみながら、1～100までの数を学習できる。 ただし、20以上の数は、10ずつ増えていくので、指導時期や指導方法に、十分配慮する必要がある。

【算数・数学】

種NO	算数・数学 24	算数・数学 25	算数・数学 26
発行	戸田デザイン研究室	PHP研究所	福音館書店
書名	とけいのえほん	かばおばさんのかぞえて かんたんかずあそび	かがくとも傑作集 かずのほん
著者	とだ こうしろう	木村 裕一	まつい のりこ 文・絵 遠山 啓 監修
定価	1,500円 (B5 52P)	1,068円 (B5変形 30P)	838円 (B5変形 24P)
発達	B	B	B
内容	午前1時から夜の12時までの時刻と読み方が、1時間ごとに記されている。最後の4頁で、分まで読む内容を扱っている。	「物を並び換えて数えやすくする」「数の分け方」「量の分け方」「～何番目という数え方」などを、絵と文字で示している。	身近な動物が登場し、比較、対応をしながら1から10までの数の数え方について説明している内容の絵本である。
構成・分量	見開きの2頁で1時刻が扱われ、左頁には時刻に合った風景が示されている。24場面構成されている。	内容を読みながら、絵本で問題を考えながら、解決していくという構成である。	見開き2頁を1場面として、前半は、1対1の対応をしながら数の数え方や対象について説明している。後半は、具体的に数字と家の窓の数と対応して説明している。全体の分量は、24頁で適当である。
表記・表現及び使用上の便宜	風景の絵は、その時刻の雰囲気が分かりやすく表されている。時計の時刻が色分けされていて、見やすいが、風景の絵は抽象的なものがある。装丁はしっかりとしており、大きさも適切で扱いやすい。	絵は動物が中心となって描かれ、カラーである。動物の困った顔や楽しい顔など豊かに描かれている。紙質・装丁ともしっかりしている。一つの問題ごとに、仕掛けの頁があり、問題を考えさせる工夫がしてある。	「…はいくつ？」などのような同じ形式の設問を繰り返して、学習を進めていく工夫がされている。文字は、11ポイントで、窓の数に対応する数字は30ポイントとやや大きい。また、文章は、平仮名と数字だけで書かれている。表紙は、丈夫で本文の紙質、装丁ともしっかりしている。B5変形で、児童・生徒が持ちやすく扱いやすい大きさである。装丁もしっかりして扱いやすい。
その他	風景の絵は抽象的なものがあり、児童・生徒によっては分かりにくい。解説の文章がほとんどないので、自由に話かけをしながら進める学習には、適している。	仕掛けの頁があり、学習意欲をかきたてる工夫がしてある。内容としては、生活の中に必要な、「教える」「分ける」などの、初期の指導に適している。	1対1の対応をしながら基礎的な数の概念が学習できるようになっている。絵、文字ともやや小さく、見にくい部分もあるので、指導の際には配慮が必要である。

【算数・数学】

種NO	算数・数学 27	算数・数学 28	算数・数学 29
発行	フレーベル館	偕成社	偕成社
書名	名画であそぶ絵本② ふたつあるものなあに？ 絵のなかにかずをさがそう	五味太郎ゲームブックNo. 1 さがしてみよう みつけてみよう	10このちいさなおもちゃのあひる
著者	ルーシー・ミクルスウェイト 俵 万智	五味 太郎	エリック・カール 作 くどう なおこ 訳
定価	1,262円 (A4 45P)	1,000円 (B5 24P)	1,800円 (A4変形 32P)
発達	B	B	B
内容	世界の名画20点を紹介し指定された数だけ描かれているものを探し数える。形の認識や位置関係、分類などの総合的な見る力を養う。	数量や図形等をヒントに目的のものを探すという11のゲームが紹介された絵本である。	10個のおもちゃのアヒルが嵐にあり、それぞれが海を漂流しながら、様々な経験をし、そのうちの1個が、最後に、本物のアヒルの親子に会うという内容の絵本である。 1から10までの数を学習することができる。
構成・分量	見開きで、左頁に設問と数詞が大きく書かれてあり、右頁には絵画が配置してある。設問は、20点の絵画について一つずつである。	見開き2頁で一つ、全部で11のゲームにより構成されている。	おもちゃのアヒルが1個ずつ様々な経験をやる場面は1場面1頁、その他の場面は1場面見開き2頁で、頁のほとんどを絵が占め、頁の上に短い文が書かれた構成となっている。
表記・表現及び使用上の便宜	絵画は多色刷りで、原画に近い色合いで美しい。 しかし、指定された数だけ描かれているものを見つけ出すのは難しい。 良質の紙を使用し、各頁はコーティングしてある。装丁もしっかりしており、絵画の題名、作者名が入っている。	絵が大きく、はっきりしており、児童・生徒が興味・関心をもちやすい。 文章は、すべて平仮名とアラビア数字で書かれている。 児童・生徒が持ち運びやすい大きさである。 装丁が丈夫で、しっかりとしている。 文字の大きさは、12～30ポイントである。	絵が、大きく、はっきりしており、児童・生徒が興味・関心をもちやすい。 文章は、すべて平仮名・片仮名・アラビア数字で書かれている。 装丁が丈夫で、しっかりとしている。 文字の大きさは、16ポイントである。 最後の頁に、押すとアヒルの鳴き声がするボタンオルゴールが埋め込まれている。
その他	設問に答える、数えるなどの課題にあまりとらわれすぎると、教科用図書としては使いにくい面がある。 児童・生徒の自由な発想を大切に、数の学習に関係付けるなどの工夫が必要である。	ヒントから目的のものを探すゲームを通して、図形や数量概念について学習することができる。 ゲームの配列には、内容の関連性や難易度の順序性がなく、図形や数量概念を系統立てて学習することが困難なため、指導上の配慮が必要である。	1から10までの数について学習することができる。 10個のおもちゃのアヒルが、1個ずつ別々に登場するために、集合数としての数を指導する上で配慮が必要である。 1個ずつ登場するアヒルが、すべて同じように描かれており、前に出てきたアヒルとの区別がつきにくいいため、順序数としての数を指導する上で配慮が必要である。

【算数・数学】

種NO	算数・数学 30	☆算数・数学 31	☆算数・数学 32
発行	鈴木出版	ひかりのくに	コナミデジタルエンタテインメント
書名	かぞえておぼえる かずのえほん	子どもの力を引き出す認識絵本 いくつか	ガーコとケロタン なかよしえほん どっちかな？
著者	島田 ゆか	嘉村 苑子 多田 ヒロシ	星野 夕子 新留 寿基 増山 桃子
定価	1,500円 (B5変形 39P)	1,200円 (B5 39P)	619円 (A5変形 16P)
発達	B	B	B
内容	身近な具体物を数える活動をとおして、1から100までの数について学習する内容の絵本である。	身近な物や動物などを通して物の数え方、長い・短い、重い・軽い、高い・低い、右左などの算数の基礎的な概念が学習できる。	ガーコとケロタンというキャラクターとともに、大きい・小さい、長い・短い、高い・低い、多い・少ない、深い・浅い、太い・細いなどを比べながら、算数の基礎的な概念が学習できる。
構成・分量	1から20までは一つずつ数えながら、20からは10のまとまりを数えながら、100までの数を学習していく構成となっている。 巻頭や巻末に、数字の練習、100までの数のまとめ、助数詞・単位についての学習のページがある。	見開き2ページに2つの要素が示されている。 数概念に関わる形や色など、25の要素で構成されている。	長さや形など6つの概念を、見開き2ページで比べる構成になっている。
表記・表現及び使用上の便宜	身近な具体物を分かりやすい絵で表し、児童・生徒の興味・関心を引きやすい。 絵の彩色に明度の近い色が多用されており、一部の児童・生徒には、見えにくいことが想定されるため、配慮が必要である。 文章は、すべて平仮名・片仮名・アラビア数字で書かれている。 児童・生徒が持ち運びやすい大きさである。 装丁は、丈夫でしっかりとしている。 文字の大きさは、20ポイントである。	本文の文字の大きさは、12ポイントである。 平仮名表記で、数字には振り仮名が付いている。 全頁カラーである。 紙質は厚く、コーティングされている。	本文の文字の大きさは22ポイントである。 平仮名表記である。 全頁カラーで線のはっきりした絵である。 紙質は厚く、コーティングされている。 A5変形で持ちやすいサイズである。
その他	身近な具体物を数える活動をとおして、1から100までの数について学習できる。 数える物のイラストに分かりにくい部分があり、実際に数える場合には、配慮が必要である。	2つの要素が2ページにわたって示されているため、何に注目させるかなど、提示するときに工夫が必要である。	比べる物の色が違っているなど、比較を意識付けるためには、実物を提示するなどの工夫が必要である。

【算数・数学】

種NO	算数・数学 33	算数・数学 34	算数・数学 35
発行	岩崎書店	岩崎書店	絵本館
書名	五味太郎のことばとかずの絵本 かずの絵本	五味太郎のことばとかずの絵本 すうじの絵本	五味太郎 かずのえほん1・2・3
著者	五味 太郎	五味 太郎	五味 太郎
定価	1,200円 (A4変形 32P)	1,200円 (A4変形 32P)	1,300円 (A4変形 47P)
発達	C	C	C
内容	身近な生活の場面が描かれ仲間を分類し、25通りの数詞が示されている。また、初歩的な数の合成・分解も扱っている。	数字が機能している身近な生活の場面が描かれている(時間、温度、重さ、電話番号、値段、住所、順番、ゼッケン、サイズ、計算など)。	10までの数の数え方、数詞の使い方、1対1対応、大小、順序、合成・分解を理解させる内容である。
構成・分量	各場面が見開き2頁で構成され、複数なのが10までの数量で描かれている。後半は、数の合成や10以上の数の数え方を扱っている。	各場面が見開き2頁で構成され、家の中、身近な地域、公共の場所の順で、問題場面が広がられている。	始めに、数詞を付けた10までの数量の数え方があり、1対1対応の大小比較、数の合成・分解、2ケタの大小比較の順に構成されている。
表記・表現及び使用上の便宜	前半は、絵と文章の数が対応しているが、後半は、児童・生徒に数え方を考えさせる工夫が見られる。平仮名で短い文章が付記されている。場面ごとに関連する物を、3種類以上扱っている。全体を通して、日常生活に起こり得る、ストーリー性をもたせた展開となっている。	各場面での数字の使われ方が、平仮名の短い文で表されている。絵は全てカラーである。装丁はしっかりしており、耐久性がある。大きさも適切で、扱いやすい。	タッチの柔らかい、親しみやすい絵であるが、数える対象が強調されず、不明確な箇所が見られる。紙質はよく、装丁もしっかりしている。大きさは、コンパクトで扱いやすい。
その他	事物の概念を、ある程度身に付けている児童・生徒を対象としている。場面によっては、具体物を用意するなど、指導上の工夫が必要である。	身近な生活の場面での、数字の機能が描かれているので自分の生活と結び付けやすく数についての興味を広げることができる。	児童・生徒に興味をもたせる絵ではあるが、指導の際には、指導内容の構成に、十分配慮することが必要である。

【算数・数学】

種NO	算数・数学 36	算数・数学 37	算数・数学 38
発行	講談社	ジュラ出版局	童心社
書名	パーバパパ・知識のえほん③ パーバパパのかずのほん	プータンいまなんじ？	かずのほん③ 0から10までのたしざんひきざん
著者	アネット・チゾン タラス・テイラー 他	わだ よしおみ	遠山 啓 監修
定価	1,200円 (A4変形 27P)	1,360円 (B5変形 22P)	1,000円 (B5変形 47P)
発達	C	C	C
内容	0～10までの数について絵の中から同じ仲間を見つけ数の数え方や数詞の使い方を理解させる内容である。	本に組み込まれた、模型の時計盤の操作により、一日の生活の流れに沿って、時刻の読み方・表し方が学習できるようになっている。	答えが10までの足し算と引き算の意味を具体的な例をもとに示し、式としての表し方を説明している。
構成・分量	見開き2頁に同数の人間と物が描かれており、仲間を探して数えるようになっている無としての0の概念を扱っている。	子供の一日の生活の流れに沿って、話が展開しており、一日の時間の流れがつかみやすい。最後に「〇時半」を扱っている。	「答えが5までの足し算・引き算」と、「答えが10までの足し算・引き算」に別れている。それぞれが具体物とタイルと式に対応させてある。
表記・表現及び使用上の便宜	文章は、すべて平仮名で書かれ、片仮名には平仮名が振ってある。頁ごとに、課題となっている数が、大きく表記されている。 紙質はよく、水をはじき、装丁もしっかりしている。	絵は親しみがもて、色彩も柔らかく表現されている。文章は分かりやすいが、文字が小さい。 時計盤が頁をくり抜いて組み込まれており、様々な場面に対応できる。装丁は厚紙でしっかりしており、耐久性に優れている。	具体的なイメージが必要な部分には、カラーで絵が載せてある。また、色の変化で理解が深められるように、工夫されている。 紙質・装丁ともしっかりしていて、耐久性がある。直接鉛筆で書き込めるようになっている。 巻末に、指導者向けの解説が載っている。
その他	作者独自の、親しみのある絵と鮮やかな色づかいで、動物や人間が描かれており、児童・生徒が興味をもって読める内容となっている。 動物の向きが様々であるため、具体物等に対応させながら、数えさせる工夫が必要である。	生活との関連で時刻が学べるようになっていて、しかも児童・生徒が時計の操作をできるように工夫されている。 時刻と時間の区別などの扱いはなされていないので、指導上の工夫が必要である。	「答えが5までの足し算・引き算」が確実に身に付いてから、次の段階に進むことが大切である。 また、繰り下がり、繰り上がりの計算は扱ってはいない。足し算・引き算の導入の段階の指導に適している。

【算数・数学】

種NO	算数・数学 39	算数・数学 40	算数・数学 41
発行	同成社	同成社	同成社
書名	ゆっくり学ぶ子のための 「さんすう」③ (6～9までのたし算、 ひき算、位取り)	ゆっくり学ぶ子のための 「さんすう」④ (くり上がり、くり下がり、 2けたの数の計算)	ゆっくり学ぶ子のための 「さんすう」⑤ (3けたの数の計算、 かけ算、わり算)
著者	江口 季好、村上 直樹 編	江口 季好、村上 直樹 編	江口 季好、村上 直樹 編
定価	1,100円 (B5 80P)	1,100円 (B5 80P)	1,100円 (B5 80P)
発達	C	C	C
内容	6から2けたまでの数、1けたの足し算・引き算、時計の読み方について、図・文字・記号を用いて示している。	繰り上がりのある足し算、繰り下がりのある引き算を中心に、2けたの足し算・引き算・単位について、図・文字・記号を用いて示している。	3けたの数と、その足し算・引き算、お金の計算、掛け算・割り算の入門、単位の換算について、図・文字・記号を用いて示している。
構成・分量	数字を書く、色を塗る等の練習問題もある。時計の読み方は、長針はすべて「12」を指しているため、1時間単位の読み方に限定される。	例題、練習問題も分量が多く載っている。「さんすうの窓」も、興味のあるコーナーになっている。	各単元は、タイル操作、筆算、文章題の構成になっている。「ことばをゆたかに」のコーナーも参考になる。
表記・表現及び使用上の便宜	絵は身近な物や動物、食べ物を取り上げ、一部はカラーである。文字は、平仮名、片仮名、数字である。紙質・装丁ともしっかりしていて、耐久性に優れている。大きさはB5で扱いやすい。ほとんどの頁に「指導の展開」が載っている。	絵は身近な物や動物を取り上げ、一部はカラーである。文字は、平仮名、片仮名、数字である。紙質・装丁ともしっかりしていて耐久性に優れている。大きさはB5で扱いやすい。ほとんどの頁に、「指導の展開」が載っている。	絵は身近な生活場面を取り上げ、一部はカラーである。文字は、漢字、平仮名、片仮名、数字である。紙質・装丁ともしっかりしていて耐久性に優れている。大きさはB5で扱いやすい。教師にとっては「指導の展開」が参考になり、使いやすい
その他	6から10までの数を、5のまとまりを基にした考え方で説明している。練習問題も適当な分量で載っており、本に書き込めるようになっており、足し算・引き算の導入の段階の指導に適している。	繰り上がり、繰り下がりの計算について、常にタイルを操作し、確かめた上で筆算を行うなど、理解を確実にしようと、ていねいに説明している。「さんすうの窓」がワンポイントアドバイスになっている。	3けたの数とその足し算・引き算、お金の計算、掛け算・割り算の入門、単位の換算について、ていねいに説明している。「さんすうの窓」や「ことばをゆたかに」のコーナーも活用できる。量と測定・図形領域は扱っていないので、指導に当たっては、補完する必要がある。

【算数・数学】

種NO	算数・数学 4 2	算数・数学 4 3	算数・数学 4 4
発行	ひさかたチャイルド	福音館書店	福音館書店
書名	わらべきみかのスキンシップ絵本5 かずのえほん	安野光雅の絵本 はじめてであうすうがくの絵本1	安野光雅の絵本 はじめてであうすうがくの絵本2
著者	わらべ きみか	安野 光雅	安野 光雅
定価	1,600円 (A 4 変形 84P)	1,600円 (B 5 変形 104P)	1,600円 (B 5 変形 103P)
発達	C	C	C
内容	前半は1から20までの数について数の概念理解を扱っている。その後、30、40、50、100、0を扱い、後半に長さ(高さ)の比較、順序数、集合などを扱っている絵本である。	「仲間はずれさがし」「物の合成」「数の順序」「数を使った位置の表し方」「量の比較」などを、絵と文字で示している。	「2つのものの関係」「比較」「集合」「数の概念」「単位」について、様々なイラストやスケッチがあり、文章で説明したり、問いかけしたりする内容の絵本である。
構成・分量	見開きの左頁に、数字、その読み方、その数を示すドットが表され、右頁に、その数にあたる身近な動物や物が描かれている。 絵や数字が大きく示されているので、全体の分量は84頁で適当である。	集合の条件探し、性質や図形の合成(分解)、順序や位置の表し方、量の比較の四つの内容で構成されており、それぞれほぼ同量である。	見開き2頁を1場面として、紙面のほとんどを絵が占め、説明文や問いかけが、そえられている。 5つの内容を8から11の場面で構成している。場面の文章の末尾は問いかけの形式になっている。 また、巻末に指導者用の解説がある。全体の分量は103頁でやや多い。
表記・表現及び使用上の便宜	数字は320ポイントの太丸ゴシック体で印刷されており、指でなぞることができる。 絵は鮮やかで形もはっきりしている。 表紙の紙質は堅く、装丁はしっかりしている。頁の紙質も丈夫である。 大きさはA 4 変形で扱いやすい。	豊富な絵で、見て楽しめるように配慮されている。全頁カラーで、情報量が多い。文字は、平仮名、片仮名、数字である。 紙質・装丁ともしっかりしている。巻末に指導者向けの解説があり、指導する上での参考となる。	文字は13ポイントで書かれ、数字には、平仮名で振り仮名が振られている。 表紙は、丈夫で本文の紙質、装丁ともしっかりしている。 B 5 変形で、児童・生徒が持ちやすく扱いやすい大きさである。 装丁もしっかりして扱いやすい。
その他	数字と量を対応させる学習を、児童・生徒が興味をもって進められるように工夫されている。 10から20までの数と30以上の数については、10の固まりが示され、1頁の絵が大きいために、全体量がかみにくいのが、順序数、集合など、様々な学習の活用ができる。 扱いの説明書は、指導者にとって参考になる。	算数の基礎的な内容を、子供が興味を示しそうな豊富な絵と、短い文で説明している。「分類」「合成」「数の順序」「量」などの導入の段階として適しているが、かなり高度な内容も含まれているので、十分な教材研究が必要である。	身近な数量や形の違い、初歩的な数量の処理や量と測定等を学習するときの導入に適している。 視覚的に見づらい配色の頁(p 34から p 35)については指導上の配慮が必要な場合がある。

【算数・数学】

種NO	算数・数学 4 5	算数・数学 4 6	算数・数学 4 7
発行	民衆社	むぎ書房	講談社
書名	さんすうだいすき あそぶ・つくる・しらべる 小学校2年	わかるさんすう①	もしも日本人が みんな米つぶだったら
著者	森川 幾太郎 他	遠山 啓 監修	山口 タオ 文 津川 シンスケ 絵
定価	1,800円 (B 5 112P)	650円 (B 5 92P)	1,300円 (B 5 変形 39P)
発達	C	C	C
内容	小学校2年で学習する加法や減法、乗法の概念と測定法が網羅され、数唱や計算を通して学習する内容となっている。	数量の表す意味(集合、大きさ、1対1対応)から、繰り上がり、繰り下がりのあるたし算、引き算まで幅広く扱っている。	ごはん、米つぶを数えたり、計量したりしながら、1億までの数を学習する内容の絵本である。
構成・分量	小学校2年の内容が9章に分けて残らずおさえられている。5章の乗法については20頁が配分され、学習の難易度に応じて配列されている	数と計算の領域のみを取り扱い、量と測定・図形領域は扱っていない。タイルを使った説明、筆算重視の取り扱いに特徴がある。	米1000粒で20g、米1合で8000粒を基準に、茶碗1杯、2kg、1俵と段階を追って大きな数について学習を進める構成となっている。
表記・表現及び使用上の便宜	買い物やお祭り等の身の周りであることがイラストで描かれていて親しみやすい。 1頁の情報量が多すぎて見にくいところもある。紙質、装丁ともにしっかりしていて、答えを書き込んだり図形を描いたりする活動にも十分耐えられる。	全頁単色で変化に乏しく、文字が全体的に小さい。 タイルを中心とした図で説明している。 紙質・装丁とも耐久性はやや弱い。 大きさはB5で扱いやすい。	分かりやすい絵と、米の写真を使って、大きな数や量が理解しやすい。 本文の漢字の一部には、振り仮名が振られている。 児童・生徒が持ち運びやすい大きさである。 装丁が丈夫で、しっかりとしている。 文字の大きさは、11ポイントである。
その他	設問に答える、数える等の課題にとらわれ過ぎると、教科用図書としては使いにくい面がある。 使用に際しては、児童・生徒の学習のペースを大切に、体験的な活動を取り入れるなど工夫が必要である。	タイルを用いて、系統的に概念形成を図っているのが、計算のやり方を理解させるには適しているが、児童・生徒の興味・関心への配慮が不十分である。また、筆算の導入時期については検討を要する。 量と測定・図形領域は扱っていないので、指導に当たっては、補完する必要がある。	身近な米・ごはんを用いて、1億までの大きな数について、体感的に学習することができる。 「合」「升」「斗」「俵」等、日本の伝統的な単位についても取り上げている。 日常生活で使用頻度が高い単位である「g」「カップ」の説明がなく、「kg」「合」との関係を把握させる配慮が必要である。

【算数・数学】

種NO	算数・数学 48	算数・数学 49	算数・数学 50
発行	福音館書店	民衆社	むぎ書房
書名	はじめてであうすうがくの絵本3	さんすうだいすき あそぶ・つくる・しらべる 小学校3年	わかるさんすう 2
著者	安野 光雅	森川 幾太郎	遠山 啓
定価	1,600円 (B5変形 95P)	1,800円 (B5 125P)	650円 (B5 123P)
発達	C	C	C
内容	図形を縦横違う比率で伸縮させる、折り紙を折る、迷路を抜けるなどの活動をとおして、位置関係、空間関係、対象、形の変形など、位相数学(トポロジー)の基礎的な内容が学習できる絵本である。	小学校第3学年で学習する3桁の数のたし算・ひき算、かけ算(導入から3桁×2桁)、わり算(導入から3桁÷1桁)、分数、円、二等辺三角形、単位(cm、m、km、g、kg、l)、小数等について、身近な活動をとおして学習できる内容である。	小学校学習指導要領「算数」の第2学年から第3学年に示された内容のうち、3桁・4桁の数とそのたし算・ひき算、かさ、長さ、かけ算九九等について、系統的に学習できる内容である。
構成・分量	「まほうのくすり(縦横違う比での図形の伸縮)」「きれいなさんかく(図形の構成)」「まよみち(迷路・一筆書き)」「ひだりとみぎ(対称な図形)」の4部から構成されている。	内容のまとまりごとに、9つの章と付録から構成され、それぞれの章は、さらに3～6の節に分けられている。 一つ一つの問題を、4人の子供が大人とのやりとりの中で解法を考え、正解を導き出していく構成となっている。	内容のまとまりごとに、13章から構成されている。 それぞれの章は、いくつかの例題と練習問題、まとめの問題から構成されている。
表記・表現及び使用上の便宜	本文は、すべて平仮名の文節分かち書きで書かれている。 絵が大きく、はっきりとしている。 巻末に、この本のねらいや解説がまとめられている。 児童・生徒が持ち運びやすい大きさである。 装丁は、丈夫でしっかりとしている。 本文の文字の大きさは12ポイントである。	本文には、小学校第3学年配当程度の漢字が使用されている。 一部の漢字には、振り仮名が振られている。 イラストが多く、問題の解法が分かりやすく示されている。 全頁モノクロである。 児童・生徒が持ち運びやすい大きさである。 文字の大きさは、14ポイントである。	本文には、小学校第2学年配当程度の漢字が使用されている。 一部の漢字には、振り仮名が振られている。 全頁モノクロである。 イラストは、例題等の解法の説明に必要な最小限のものに限られている。 児童・生徒が持ち運びやすい大きさである。 本文の文字の大きさは、12ポイントである。 指導者用の解説書が別冊で添付されている。
その他	身近な活動をとおして、数学に興味をもたせる工夫がされている。 位相数学(トポロジー)の基礎的な内容を、平易な文章で説明している。 内容として高等学校で扱う高度なものも含まれており、使用に当たっては、配慮が必要である。	一つの問題に対して、複数の解法を示している。 一部の解法は、検定済教科書等に示されていないものであるため、配慮が必要である。 題名に「3年」とあるため、高学年の児童や生徒が使用する場合には、配慮が必要である。	「数と計算」の領域の内容では、すべての章をとおして、タイトルを用いて系統立てた説明をしている。 練習問題、まとめの問題の量が多い。 「指導ノート」に、本書編集の意図や本書の活用の仕方がまとめられている。

【算数・数学】

種NO	☆算数・数学 5 1
発行	東洋館出版
書名	くらしに役立つ 数学
著者	大南 英明
定価	1,300円 (B5 127P)
発達	C
内容	<p>基礎編として、数と計算、量と測定、図形と面積・容積、時刻・時間と速度などについて扱っている。</p> <p>生活編として、自分の身の回りのこと、毎日の生活のこと、学校生活のこと、余暇のこと、暮らしのことについて扱っており、数学的な知識や技能等が学習できる。</p>
構成・分量	基礎編、生活編の2部構成になっている。
表記・表現及び使用上の便宜	<p>文字の大きさは12ポイントである。</p> <p>小学校3年生以上の漢字に振り仮名が付いている。また、数学で使う新しい用語「正(せい)」「負(ふ)」「小数(しょうすう)」などにも振り仮名が付いている。</p> <p>黒、青の2色刷りである。</p> <p>問題と一緒にイラストも掲載され、視覚により、理解できるような工夫がある。</p> <p>表紙・本文ともに紙質は薄く、一般の教科書と同様の装丁である。</p>
その他	具体的な内容を扱っているので、実際に買い物などの体験活動と合わせて指導すると効果的である。